ホームニュース

三河支社　刈谷ホームニュース編集室　〒446-0057 安城市三河安城東町1丁目20番地3
)8388　E-mail:kariya@homenews.co.jp　HP http://www.homenews.co.jp

新聞折込広告のことなら
株式会社 中日総合サービス
http://www.c-mkworikomi.co.jp
全域配布サービス実施中
中日新聞未購読世帯にもポスティングでお届け（愛知県内は毎月第2・4金曜日）
三河支社／安城市三河安城東町1-20-3 ☎0566-75-9732

スマホで避難誘導

ソノー電機工業（小垣江町）がアプリ開発

カメラ機能で観光案内も

市のホームページで無料配信

小垣江町の電気通信会社「ソノー電機工業」は市と連携し、災害時の避難誘導と観光案内の機能を備えたスマートフォン向けアプリ「パチリガイド」を開発した。カメラのレンズを向けたり、写真を撮ったりするだけで簡単に使用できる。通信手段がインターネットではなく、GPS（全地球測位網）のため、さまざまな状況下で安定して動作するのも利点だ。

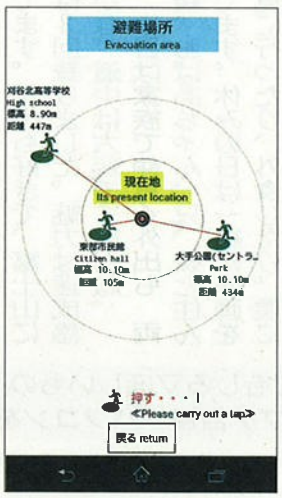
避難誘導機能は、利用者を避難場所まで誘導するシステム。全国約12万7000カ所が登録されており、市内は80カ所。現在地付近にある3カ所以上の避難場所情報（距離、標高）が表示され、1カ所を選択。矢印に従って歩くと残り距離数が減っていき、やがて避難場所にたどり着く。

「避難場所の検索や矢印による誘導、距離数、一つ一つの精度には自信を持っています」と、担当社員の小林裕隆さんは自負する。

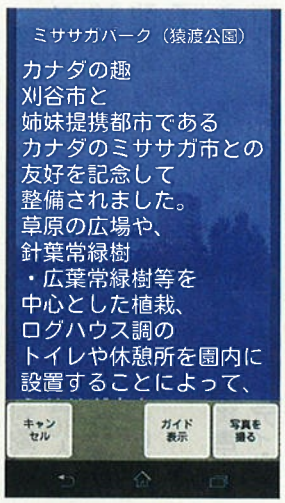
観光案内は刈谷ハイウェイオアシスやフローラルガーデンよさみなど市内180カ所をはじめ、全国の川や山、離島、世界遺産など約1万件のデータを収録。対象の施設や場所をカメラで撮影すると、画面に案内文が映し出される仕組みで、音声付き画像として保存もできる。外国語にも対応している。

請園邦雄社長は「今後は全国の自治体とさらに協力し、2020年の東京五輪も視野に情報を充実させていきたい」と話している。

対応機種はAndroid2・3・3～4・3（GPS、写真機能付き）。7月上旬にはiPhoneにも対応する予定。アプリは、市のホームページで無料配信している。問同社☎21・6031。



現在地から避難場所まで誘導（スマホの画面）



カメラで撮影。観光案内文を読むこともできる

クアコーナーなど新増設

ウォーターパレスがリニューアル

ウォーターパレスKC＝半城土北町＝が6月にリニューアルオープンし、温浴施設のクアコーナーやトレーニングジムなどが新増設された。指定管理者のリンクワークス・YMCA・三菱電機ビルテクノサービス共同体が運営管理する。

クアコーナーはプールと一体的に利用できるようになった。電子浴やジャグジーが楽しめる。2階にはトレーニングジムやフィットネススタジオ、多目的ルームが新設された。

ジムは、ランニングマシンやバイクなどの器具が充実。利用料は高校生以上300円、65歳以上150円。スタジオではヨガなどの各種教室が開かれる。

営業時間も拡充。平日は午前9時～午後10時、土日は午前9時～午後7時。毎月第2・4金曜日（7、14日）は施設☎21・6031。

振り込め詐欺 窓口で防ぐ

碧信東刈谷支店の職員に感謝状

刈谷署は17日、振り込め詐欺を防いだ碧海信用金庫東刈谷支店の牧原正枝さんに中村隆則署長から感謝状を贈った＝写真。

牧原さんは窓口に勤

ごまのクレープいかが

ハイウェイオアシスに出店

角文が外食産業に進出

総合建設業の角文＝泉田町＝は創業150周年を機に外食産業に新規参入し、刈谷ハイウェイオアシスのリニューアルに合わせて24日、セントラルプラザ内にごまを使ったクレープ店「京都胡麻屋くれぇぷ堂」を開店した。

同店は角文が中心となり、ごま加工製造販売を手がける「わだまイエンス」の深堀勝謙長は昨年、国際協力機構（JICA）の第1回中南米民間連携調査団に参加し、同メンバーだった「わだまんサイエンス」の深堀勝謙

角文の鈴木文三郎社長は昨年、国際協力機構（JICA）の第1回中南米民間連携調査団に参加し、同メンバーだった「わだまんサイエンス」の深堀勝謙

イスター認定試験にも合格した。

ごまクレープは食事系とスイーツ系があり、京野菜からフルーツを生かしたものまで9種類。ごまは生地などにふんだんに使い、一口食べると香ばしい風味がふわり。健康食品のごまを取り入れたクレープは、女性から人気を集めそうだ。価格は500円程度。

「ごまのクレープは若い人だけでなく、いろいろな年代の方々に健康的においしく味わっていただけます。ご賞味ください」と、鈴木社長は話している。

営業時間は午前7時～午後10時。問胡麻の和☎62・5009。